

伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

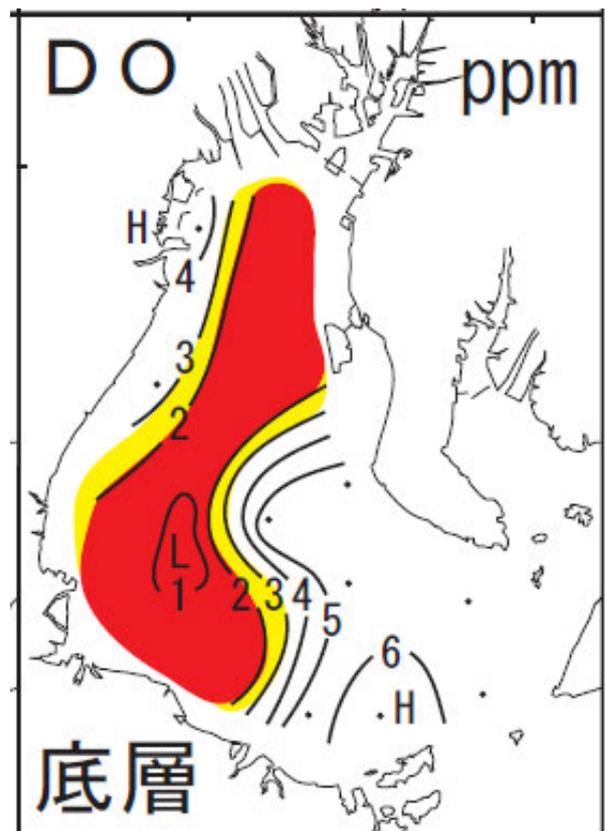
伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度の低下が始まり、湾奥部から湾中央部にかけて 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

6 月 5 日の調査結果

6 月 5 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 18.5～21.5℃、10m で 15.5～19.6℃、底層で 13.4～18.4℃の範囲にあり、表層と底層は平年よりやや低め、10m では平年並となっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 6.2～9.1ppm、10m で 2.9～7.5ppm、底層で 0.9～6.5ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10m と底層では平年並となっており、底層には湾奥部から湾中央部にかけて 2ppm以下の貧酸素水塊が形成されていました。

今後水温の上昇などに伴って、底層の貧酸素水塊が拡大すると予想されますので、貧酸素水塊の動向を注視する必要があります。



底層貧酸素水塊分布図